

こっこめ通信 10 2010

「異常気象だった？」号



八丈島ではアカッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

夏休み期間から9月中旬にかけては、天気が良く、欠航が無く、海も穏やかで、遊びに来た方々は八丈島を満喫されたのではないのでしょうか？しかし、9月下旬になってとうとう台風がやってきました。25日は台風12号の影響で大荒れ！飛び石連休を利用して遊びに来た人たちは、島から帰るに帰れず、辛い思いをしてしまったかもしれません。これに懲りずにまた八丈島に遊びに来てほしいものです。

さて今回は、「八丈島も今年は暑かった！」「秋の渡り『旅鳥たち』」のお話です。

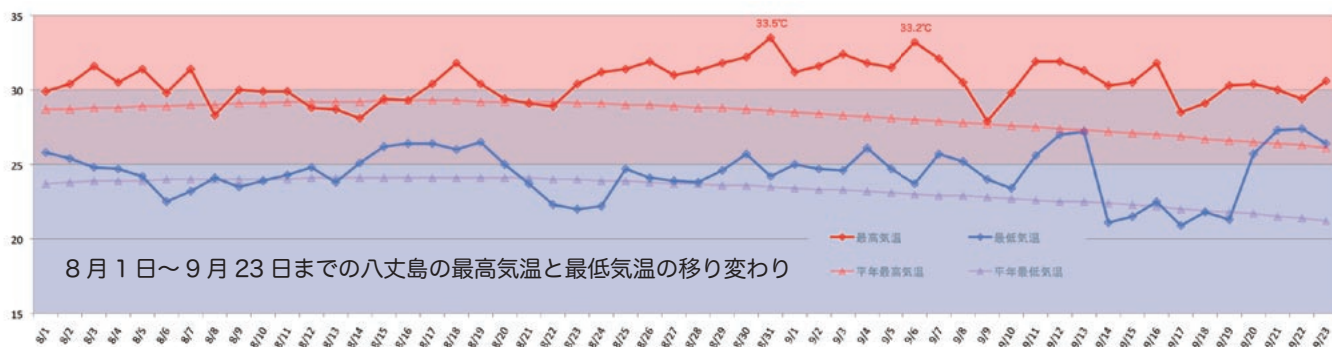
八丈島も今年は暑かった！

『異常気象』、今年はニュースでこの言葉を何度も耳にしました。気象庁も、北・東日本は統計を開始した1946年以降で一番暑い夏（6～8月）になったと発表したほどでした。その要因の一つとされる『太平洋高気圧の勢力の強さ』の影響を受けた八丈島も、とても暑い夏となりました。また、降水量も少なく、8月15日から約1ヶ月の間、ほとんど雨が降りませんでした。そして、8月31日、最高気温33.5℃を記録。1906年6月に統計を取り始めてから4番目に高い気温となりました。9月になれば気温が下がると思われた9月6日には33.2℃を記録、今までの9月の最高気温の記録を塗り替え、観測史上6番目の気温となりました。

高気圧に覆われたおかげで海は穏やかな日が多く、気温だけではなく、水温も例年より高めとなりました。9月に入ってもビジターセンターには、海で日焼けした島っ子の来館が多かったですね。

八丈島測候所における
観測史上、日の最高気温

	(℃)	日付
1位	34.8	(1942/ 8/ 2)
2位	34.2	(1942/ 7/30)
3位	34.0	(1942/ 7/29)
4位	33.5	(2010/ 8/31)
5位	33.3	(1984/ 8/14)
6位	33.2	(2010/ 9/ 6)
7位	33.2	(1978/ 8/23)
8位	33.2	(1953/ 8/22)
9位	33.1	(1947/ 8/14)
10位	33.1	(1942/ 8/ 9)



猛暑日・真夏日・熱帯夜日数の東京との比較

	東京	八丈島	平年値
猛暑日※	13日	0日	0日
真夏日 最高気温が 30℃以上の日	71日	44日 33℃以上=2日 32～33℃=3日 31～32℃=18日 30～31℃=21日	15日
熱帯夜 最低気温が 25℃以上の日	55日	23日 27℃以上=4日 26～27℃=7日 25～26℃=12日	21.1日

※ 猛暑日：最高気温が35℃以上の日

今年、東京では、真夏日を記録した日が71日と観測を始めてから一番多く、熱帯夜も最多。猛暑日は最多タイとなっています。八丈島の今年の記録は、真夏日が44日あり、過去5番目に多い記録（過去最高は1942年の56日）となっています。平年が15日なのでやはり暑い日が多かったのが分かります。熱帯夜は23日とそれほど多くないのは、海からの風で気温が下がるためだと思います。

島の場合、昼間は暑くても、夜に少し涼しくなります。都会の夜はあまりにも暑く、その暑さから逃れる為、避暑地として島にやってくる観光客の方たちが今年は多かったように思えます。

「アカッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

秋の渡り「旅鳥たち」

9月に入ってから渡りの途中に立ち寄る旅鳥の姿が目につくようになってきました。陸地から大きく離れている八丈島の場合、上空の風により渡ってくる鳥の種類や数が大きく異なります。今年は上空の亜熱帯ジェット気流が北寄りになっていたと気象庁が発表しています。今年の鳥相はこの風の影響も受けているのかもしれませんが。

さて今シーズンの渡りを見てみると、あまり馴染みがないシギやチドリの仲間が多く、観察していても種の判別が難しく頭の中は“？”だらけでした。北半球北部で繁殖して、長い渡りをするシギが今年は多く立ち寄ったのかもしれませんが。それぞれの写真の右上のマークは今年多い種、左上のマークは島では珍しい種になります。



写真で紹介した他には、「キョウジョシギ」「エリマキシギ」「ムナグロ」「バン(幼鳥)」「コガモ」「カルガモ」「ハジロクロハラアジサシ」「ハヤブサ」「チョウゲンボウ」「ハクセキレイ」「キセキレイ」「ムネアカタヒバリ」の渡りが確認されています。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は9月12日(13時30分～15時)に行いました。

八丈植物公園季節調査(平成22年第9回)参加者: 沖山、菊池昭、茂手木、永井、永井、武井、金田、安彦、VC 菊池

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
草本			33	ヒナギキョウ	花と実	シダ植物		
1	アオツツラフジ	花と実	34	ヒメクグ	実	1	イシカグマ	
2	アオノクマタケラン	実	35	ヒメヨツバムグラ	花と実	2	オオイタチシダ	
3	アキノノゲシ	蕾	36	ヘクソカズラ	花と実	3	オオタニワタリ	萎れている
4	アシタバ	実	37	ホソバツルメヒシバ	実	4	オニヤブソテツ	
5	アメリカスズメノヒエ	花と実	38	ミツバ	実	5	カニクサ	胞子葉が目立つ
6	イガガヤツリ	実	39	メナモミ	花	6	コハシゴシダ	増えてきた
7	イヌタデ	花	40	メヒシバ	実	7	タチシノブ	
8	ウスベニニガナ	花と実	41	メリケンカルカヤ	咲き始め	8	タマシダ	
9	ウリクサ	花	42	ヤハズソウ	花	9	ナチシケシダ	
10	オオアレチノギク	実	43	ヤブガラシ	花と実	10	ナンカイイタチシダ	
11	オオバコ	実	44	ヤブマオ	実	11	ノキシノブ	乾燥で枯死寸前?
12	オニタビラコ	花				12	ハチジョウウカナワラビ	
13	カラムシ	実	木本			13	ハチジョウシダ	
14	キンエノコロ	実	1	アカメガシワ	実が残る	14	ハチジョウベニシダ	萎れている
15	キンゴジカ	花と実	2	イヌビワ	実	15	ヒトツバ	葉が縮れている
16	クグガヤツリ	実	3	エノキ	実	16	ホシダ	
17	クズ	花、盛り	4	オオバヤシャブシ	実	17	ホラシノブ	
18	コミカンソウ	実	5	オオムラサキシキブ	実	18	マツバラン	胞子囊
19	シマスズメノヒエ	花と実	6	ガクアジサイ	実	19	マメツタ	
20	タケダグサ	花	7	シチトウエビヅル	花と実	今回はシダ植物 19 種を含む 82 種の植物を観察しました。日照り続きと草刈りの直後だったこともあり、思ったほど種類数が伸びませんでした。		
21	タチスズメノヒエ	花と実	8	シチトウタラノキ	花			
22	チチコグサ	実	9	シマクサギ	花			
23	ツユクサ	花	10	スダジイ	実と虫こぶ			
24	ツルボ	花と実	11	トベラ	実			
25	テリハノブドウ	若い実	12	ハゼノキ	実			
26	テンツキ	実	13	ハチジョウキブシ	実と花芽			
27	トウバナ	花と実	14	ヒサカキ	実			
28	ヌスビトハギ	実	15	ヒメユズリハ	実			
29	ノシラン	花	16	ホルトノキ	実			
30	ハキダメギク	花と実	17	マサキ	若い実			
31	ハチジョウシュスラン	咲き始め	18	モッコク	若い実			
32	ヒデリコ	実	19	ヤブツバキ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、八丈島に渡ってくる「コガモ」にスポットを当ててみたいと思います。



コガモ

Anas crecca

カモ科の鳥。春や秋の渡りの途中に島に立ち寄ります。立ち寄った後に島で冬を越す個体も中にはいるかもしれません。島に渡ってくるカモの中では一番個体数が多く、毎年必ず見られます。

島ではオスの繁殖羽根が見られるのは春先になってから、秋にはメスと模様がほとんど同じになっています。日本産カモ類では最小。

2010 10

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
31 ガイドウォーク 12:28 04:46 23:18 18:24			 この色の日は 特別行事があります		 1 11:53 03:48 20:27 15:15	2 ガイドウォーク 13:52 05:23 23:06 18:58
3 ガイドウォーク 06:59 00:01 14:39 20:20	4	5	6	7	 寒露 8 05:17 11:07 16:58 23:24	9 ガイドウォーク 06:06 11:41 17:24
10 ガイドウォーク 秋の特別行事 「八丈富士裾野ハイキング」 植物公園季節調査会 06:53 00:01 17:50 12:13	11 ガイドウォーク 07:42 00:39 18:17 12:44	12	13	14	 15 12:33 03:54 20:32 16:16	16 ガイドウォーク 13:48 05:23 23:29 19:30
17 ガイドウォーク 06:56 00:24 14:24 20:24	18	19	20	21	22	 霜降 23 ガイドウォーク 八文学講座 「旅するタネの話」 05:19 11:01 16:43 23:12
24 ガイドウォーク 05:55 11:29 17:06 23:43	25	26	27	28	29	 30 ガイドウォーク 11:06 03:26 20:51 16:05

イベントプログラム

全国自然歩道を歩こう月間 「八丈富士裾野ハイキング」	全国自然歩道を歩こう月間に合わせたハイキング、今年も八丈富士の裾野を歩きます。 10/10（9:30～ 約6時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンター集合・解散 参加費：500円（保険・交通費） 定員：20名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 10/10（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八文学講座 「旅するタネの話」	毎月行っている八文学講座。飛ぶタネ、くっつくタネ、はじけるタネ、不思議なタネのお話です。 10/23（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2010.10.1 第113号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
 〒100-1401
 東京都八丈島八丈町大賀郷2843
 電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

夏の終わりにシギ・チドリの間が渡って来て、秋の始まりにヒタキ科が渡って来て、本格的に秋になるとカモの間が渡って来て、冬がくるとアトリ科が渡ってくる。毎年毎年、鳥たちが運んでくれる季節感。できることなら変わらないでほしいと思います。（高）